

誰もが取り組めるトヨタ生産方式の実践

このテーマのキーワード	課題発見、ムダ、人材育成、生産性向上、体質強化、5 S
関連するSDGs開発目標	  

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

(社会背景・目的)

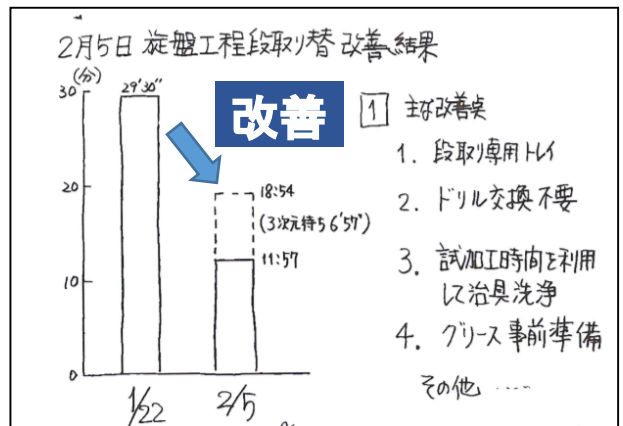
製造業での、生産性の向上は永遠の課題であり、近年は少子高齢化によるスキルを持った経験者の高齢化により、人材不足と育成が喫緊の課題となっている中、現場の体質強化に向けたコミュニケーションとマインドづくりがますます大切です。

(概要)

誰もが簡単に取り組める改善活動を研究しています。トヨタ生産方式の基本的な考え方である現場でのムダの見える化、課題抽出を基本に基づき、誰にも分かりやすい形での実践を、学生も一緒になって考えていきます。当たり前にするべき事を、理解・納得してやれる方法を一緒に考え、取り組んでいきます。

(期待される効果)

- ・ 具体的な改善提案と実施
- ・ ムダの見える化・数値化・共有化理解促進
- ・ 現場でのコミュニケーションの醸成



想定される適用分野・用途・業界

- あらゆる業種の生産現場
- 特に改善、人材育成に時間を費やす事が難しい中小製造業の生産現場での体質強化と人材育成

産業界へのアピールポイント

- 日々働いている人にとって何が必要？何が重要？を一緒に考え、取り組みます。
- 内容によっては、技術的課題も協力し取り組む事が出来ます。

情報メカトロニクス学科 小塚 高史 教授

このテーマに関するお問合せ ものづくり研究情報センター
E-mail : mric@iot.ac.jp TEL : 048-564-3880

進化する技・深化する知
 **ものづくり大学**
INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS